

総合計画／実施計画書 兼事務事業評価シート

事業期間 H21 ～ H23

担当部局	部局名	産業経済部
	課室名	商工観光課

1. 基本施策名等（基本計画における「基本施策名」等を記入）	
基本施策ID	基本 施 策 名
4 - 2 - 2	新しいビジネスや地域に密着した産業を育成する
重点施策ID	重 点 施 策 名
- - -	【体系外】

2. 事業名等	
事業名	特産品開発・販路開拓事業
細事業名	
事業主体	商工団体・組合・事業者等
事業種別	① ①自治事務 ②法定受託事務
実施期間	平成 20 年度 ～ 平成 22 年度
各種の計画への反映（＝根拠計画）	根拠法規
事業区分	② ①新規 ②継続 ③その他（ ）
実施形態	① ①毎年 ②隔年 ③その他（ ）
	④ ①直営 ②指定管理 ③委託
	④その他（ 商工会補助金 ）
事業ID	

3. 事業の内容等									
事業の背景	<p>多様な農林産物の生産振興に比して、それらの1.5次、2次加工された商品が少なく、特に市の土産品や名物料理という観点で、市民から愛用される品物の開発が求められている。</p>								
補助事業	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>国</th> <th>県</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td></td> <td>1/</td> <td>1/</td> <td>1/</td> </tr> </table>	名称	国	県	その他		1/	1/	1/
名称	国	県	その他						
	1/	1/	1/						
起債の種類	<table border="1"> <tr><td>①</td><td></td></tr> <tr><td>②</td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td></tr> </table>	①		②		③			
①									
②									
③									

事業の目的及び対象		事業概要	
【目的】	市内産物の地産地消を基本にした特産品、名物料理の開発や、伝統和菓子や地酒等の地域ブランド商品の認定事業に取組み、ブランド商品の情報発信と共に販路拡大や開拓をする。	【事業概要】	①商工会等が小規模事業者と協力して推進する特産品開発や、その販路開拓等について幅広い支援をする。 ②市内にある土産品等について、市のブランド認定を行い、販路拡大を支援する。 ③チャレンジショップ推進事業（イベントや空き店舗の有効活用）、コミュニティビジネス推進事業、創業のための研修を支援する。
【対象】	商工会・事業者	前年度の評価	評価結果に基づき見直した内容
		E 維持	

4. 予算・決算の状況		(単位：千円)						
財源内訳		H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23～
予 算	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源計	0	0	0	0	4,200	1,000	0
決 算	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源計	0	0	0	0			

5. 実績及び達成目標等			
過去3年間の事業実績と課題			
平成18年度	平成19年度	平成20年度	課 題
【実績】	【実績】	【実績】	
		<ul style="list-style-type: none"> 特産品開発、観光開発に向けての資源調査及び検討会 料理、加工品ブランド化推進 豊後大野ムラ物語発行 	

達成目標と前年度までの進捗状況……事業成果の目標となる指標と目標数値							
活動指標	助成額						
効率指標	-						
成果指標	特産品開発事業者数						
	単 位 団体						
年度	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	備 考
種 別			事業者	事業者	事業者	事業者	
目標値					1	1	
実績値							
達成率							
備 考							

総合計画／実施計画書 兼 事務事業評価シート

評価対象年度 H20 年度

評価実施年度 H21 年度

担当部局	部局名	産業経済部
	課室名	商工観光課

6. 前年度の事業評価				評価に関する視点	
事業の 必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	4	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。	
理由	中心市街地の空洞化が進む中、商店街の活性化のためには地元事業者が主体的に商品開発などの高付加価値化を図ったり、消費者のニーズに沿った商品やサービスを提供することが必要であり、そのための支援が必要であるため。				
行政の 与	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	4	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを提供できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。	
理由	事業者が主体的に実施することが望ましいが、大型店の進出や後継者不足、高齢化等により困難な状況にあることから、行政の支援が必要。				
手段の 妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	4	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。	
理由	平成20年度に、地域資源∞全国展開支援事業で単年度補助事業として実施。これを活かすために3年間計画で取り組むもので、計画期間中の支援が必要。				
事業の 効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。	
理由	商店街の危機的な状況を打開するために、自分たちが何をしなければならないかを考え、その方法を探る。				
事業の 予算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	4	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。	
理由	計画期間は市の支援は必要。				
人体 員制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	3	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。	
理由	実施主体は商工会。人員は現行どおり。				
事業 規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。	
理由	農商工の連携により、地元の農産物を利用した特産品の開発や、販路拡大、観光資源のPR等に取り組むものであり、商店街の活性化に向けた取り組みとして支援が必要なため。				
その他、特記事項	事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。				
<p>◎ 本事業は、平成20年度に国の単年度直接補助事業（地域資源∞全国展開支援事業）で実施。 ・平成21年度は経済危機対策臨時交付金事業により実施。</p> <p>○ 計画概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度は国の事業により特産品の掘り起こし ・平成21年度は商品化 <ul style="list-style-type: none"> ① 料理…市内の特産品を使った料理の品目を選定し、各料理店がオリジナル商品として出品。これを審査し、市が特産品として認定。 ② お土産品についても同様に審査し認定する。認定された商品は市の特産品としてPRしていく。 ③ 観光パンフの作成 ・平成22年度からは、認定された特産品の商品化に向けPRしていく。 					
部長	課長	班長	担当者	内線 E-mail @bungo-ohno.jp	